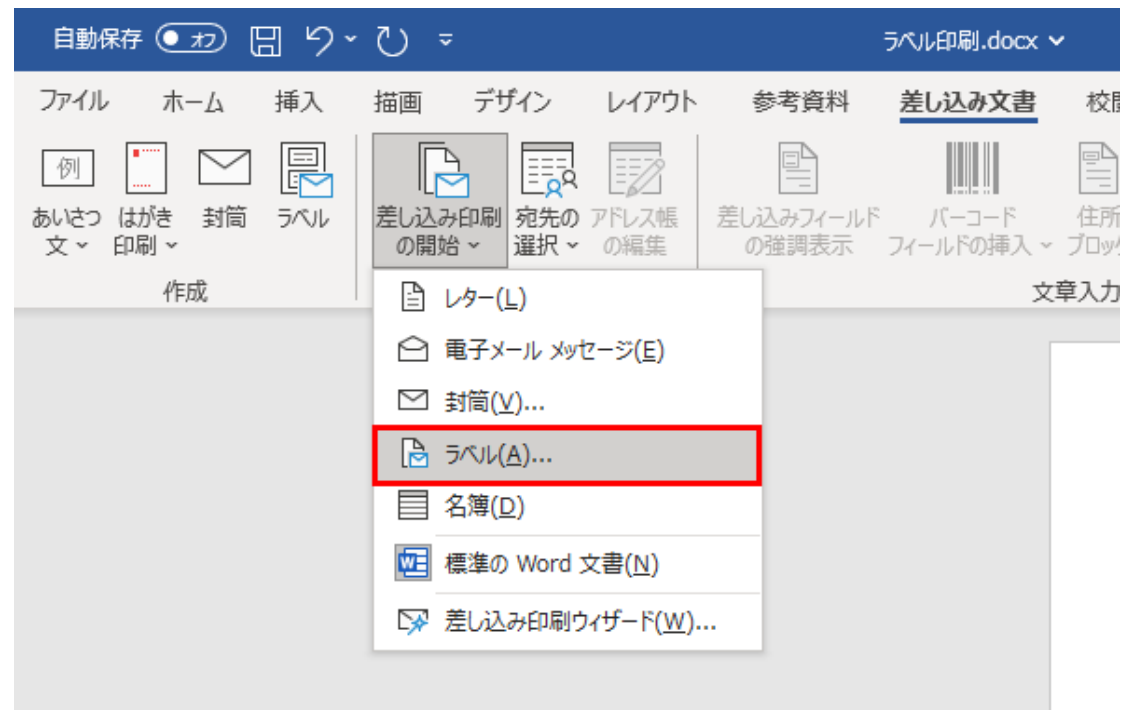
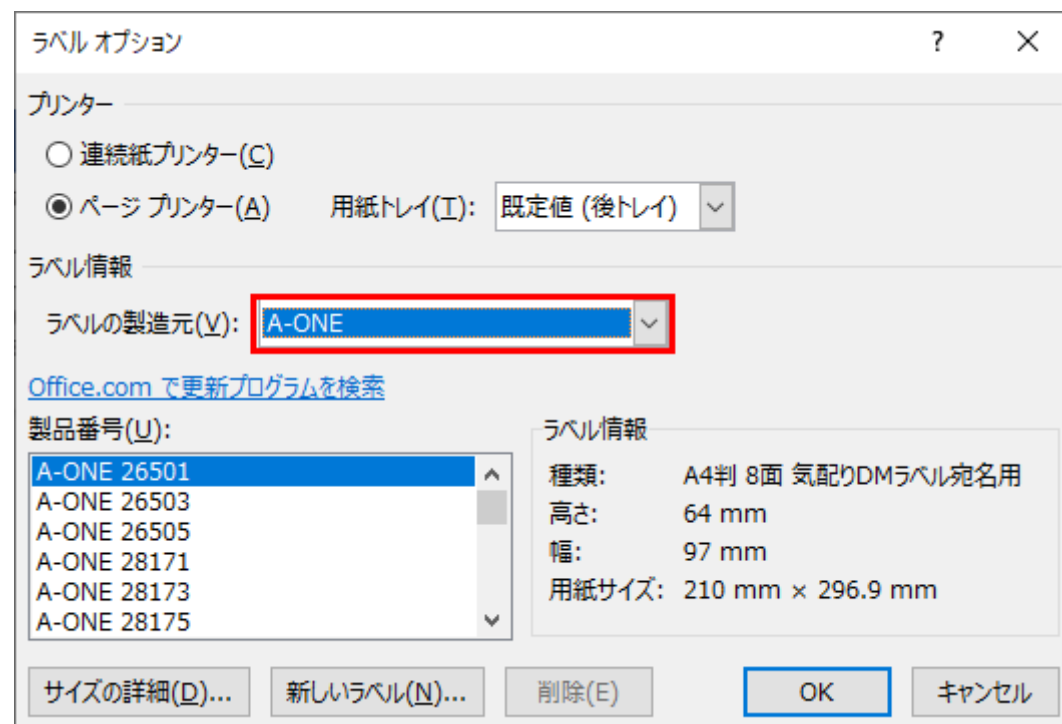


差し込み印刷で、ラベル印刷の手順です

① [差し込み印刷の開始]から、ラベルを選択しましょう



② ラベルのメーカーを選びます。今回はラベルの製造元「A-ONE」をサンプルにご説明いたします。



- ③ 製造番号を一致させましょう。これはプリントするラベルの製品に必ず記載があります。そちらをご確認ください。

ラベル オプション

プリンター

☐ 連続紙プリンター(C)

☒ ページ プリンター(A) 用紙トレイ(I): 既定値 (後トレイ) ▼

ラベル情報

ラベルの製造元(Y): A-ONE ▼

[Office.com で更新プログラムを検索](#)

製品番号(U):

- A-ONE 26501
- A-ONE 26503
- A-ONE 26505
- A-ONE 28171
- A-ONE 28173
- A-ONE 28175**

ラベル情報

種類: A4判 12面《富士通OASYSシリ...

高さ: 42.3 mm

幅: 83.8 mm

用紙サイズ: 210 mm × 296.9 mm

サイズの詳細(D)... 新しいラベル(N)... 削除(E) OK キャンセル

- ④ OK ボタンを押します。

ラベル オプション

プリンター

☐ 連続紙プリンター(C)

☒ ページ プリンター(A) 用紙トレイ(I): 既定値 (後トレイ) ▼

ラベル情報

ラベルの製造元(Y): A-ONE ▼

[Office.com で更新プログラムを検索](#)

製品番号(U):

- A-ONE 26501
- A-ONE 26503
- A-ONE 26505
- A-ONE 28171
- A-ONE 28173
- A-ONE 28175**

ラベル情報

種類: A4判 12面《富士通OASYSシリ...

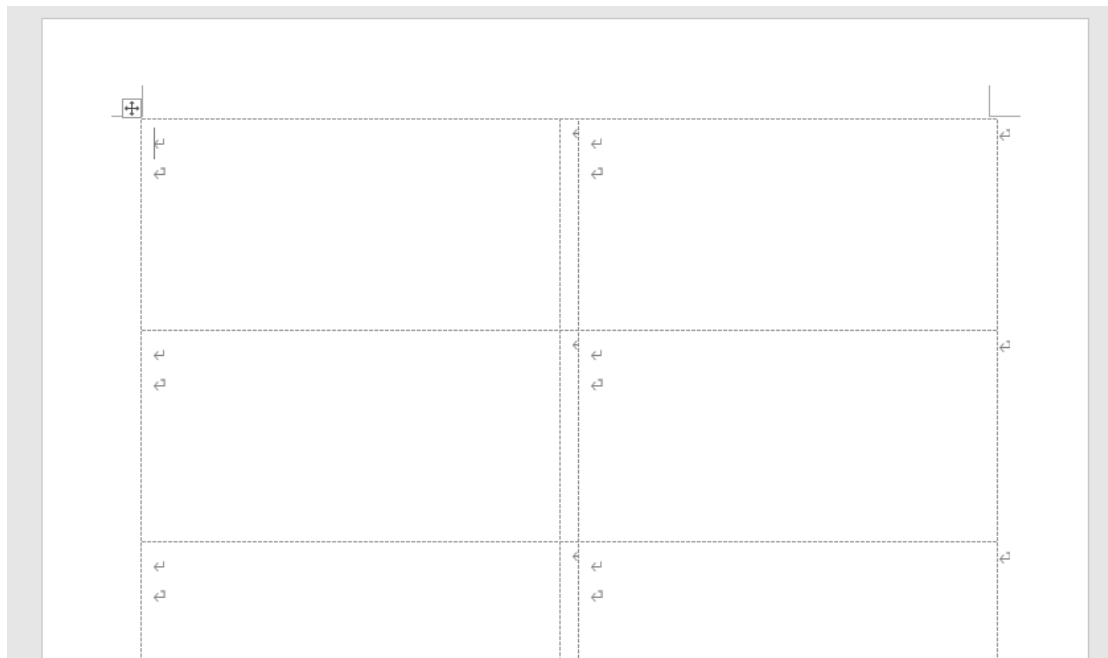
高さ: 42.3 mm

幅: 83.8 mm

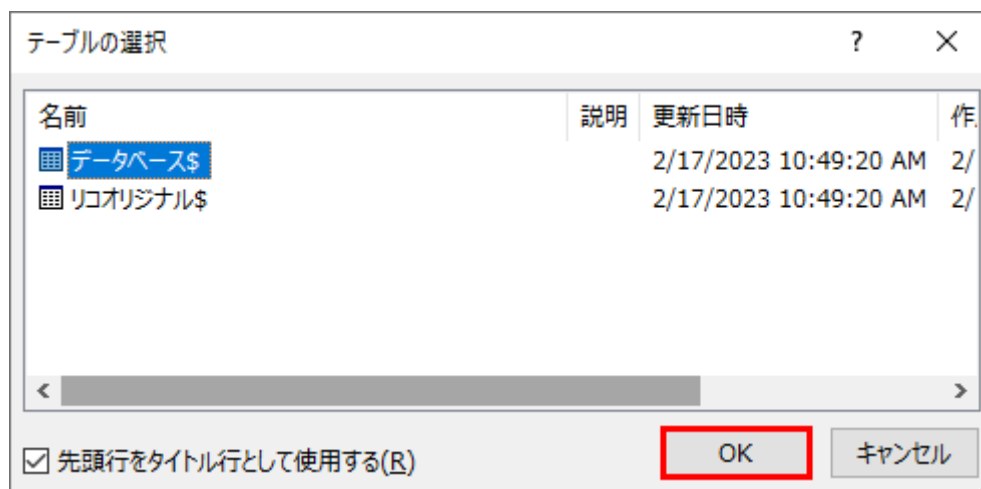
用紙サイズ: 210 mm × 296.9 mm

サイズの詳細(D)... 新しいラベル(N)... 削除(E) **OK** キャンセル

⑤ Word 画面にラベルの枠が生成されます



⑥ P167 の手順 2 の操作を行ってください。

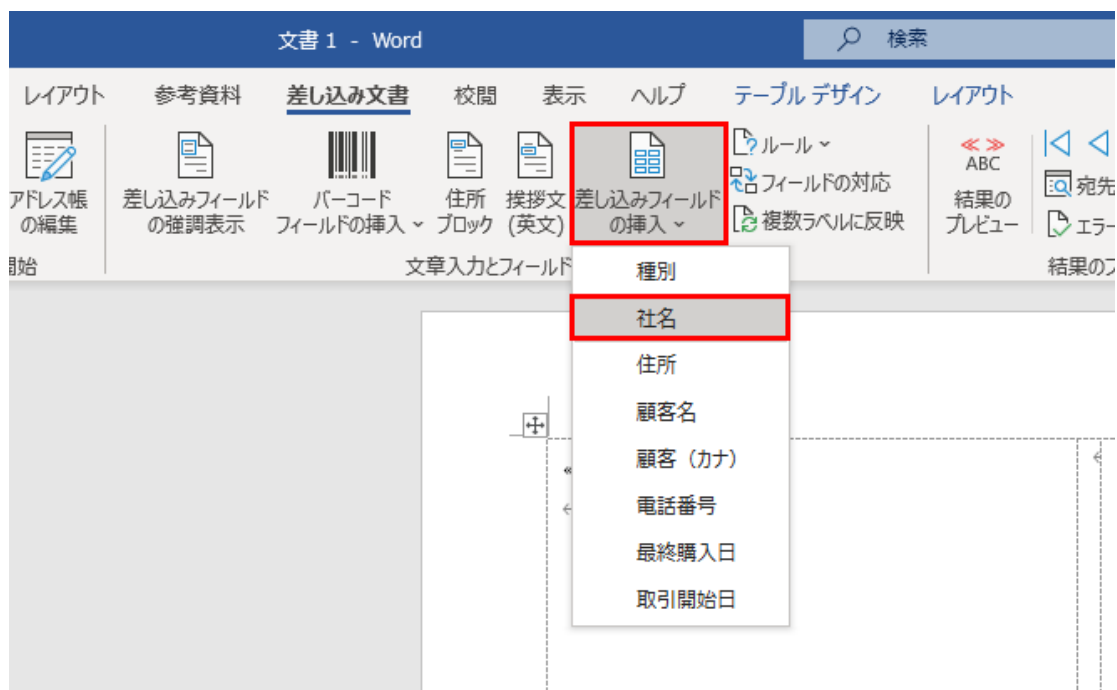


- ⑦ このように表示されます。**【重要】** Next Record というのは、次の項目を呼び出すタグなので、消さないようにしてください。



«Next Record»↗	«Next Record»↗
«Next Record»↗	«Next Record»↗
«Next Record»↗	«Next Record»↗

- ⑧ 差し込みフィールドより、差し込みたい項目を挿入します。今回はサンプルデータに郵便番号がないので、社名を使います。



- ⑨ 社名が差し込まれました。

«社名» ↵	«Next Record» ↵
«Next Record» ↵	«Next Record» ↵

- ⑩ 複数ラベルに反映を押すと、Next Record に代入されます。この Next Record は実際にデータが挿入されると消えるので、編集はしないようご注意ください。

rd 検索

校閲 表示 ヘルプ テーブル デザイン レアウト

住所 挨拶文 差し込みフィールドの挿入  
▼ ブロック (英文) の挿入 ▼

ルール ▼  
フィールドの対応  
複数ラベルに反映

結果のプレビュー

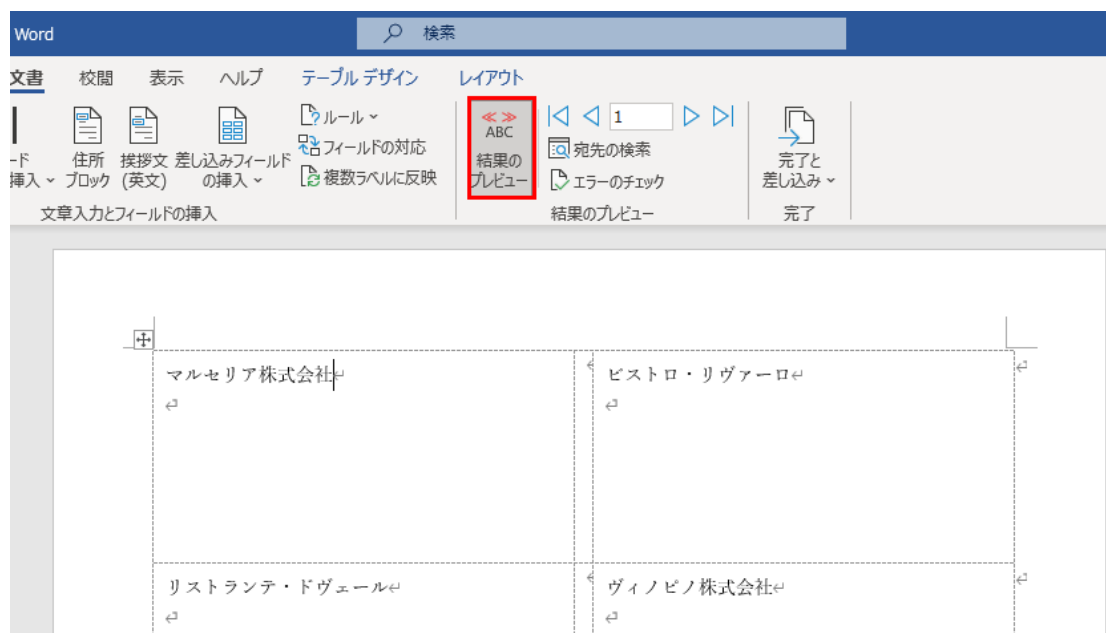
宛先の検索  
エラーのチェック  
結果のプレビュー

完了と差し込み ▼  
完了

文章入力とフィールドの挿入

«社名» ↵	«Next Record»«社名» ↵
«Next Record»«社名» ↵	«Next Record»«社名» ↵

- ⑪ 結果のプレビューで確認します。あとは P170 と手順は同様です。このようにしてラベルを作成することができます。



ラベル枠の左上をしっかりと作成してから、複数ラベルに反映、完了と差し込みという手順です。事務系のお仕事ではとても頻度が高い操作なので、ぜひできるように実際の住所データを使って練習してみてください！